

全日本年金者組合
神奈川県本部
 〒231-0032 横浜市中区不老町2-8不二ビル2F
 TEL: 045-663-4061 FAX: 045-663-4062
 メール: info@nenkinkanagawa.com

2月28日現勢 組合員 9,997人
 機関紙 6,076部
 2021年緊急署名 36筆

年金者 しんぶん

年金相談会

20年前 厚木支部の「難聴陳情」が契機

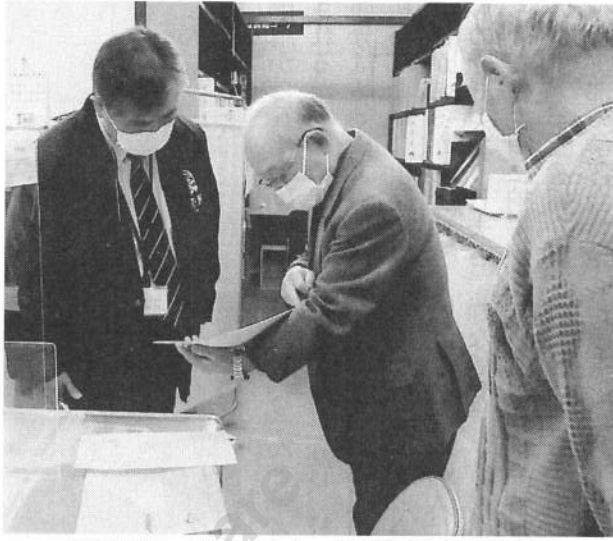
1998年、厚木支部は公共施設に難聴者のための「磁気ループ」設置を求め陳情活動。この申し入れには厚木支部執行委員4名が当たり、市側は秘書課の職員が対応しました。県内で初めて公共施設に「磁気ループ」を設置させました。これが補聴器助成となったようです。「自立支援用具等購入費助成」制度とい、75歳以上の高齢者に杖、歩行器など

4月13日(火) 午後1時~4時、県本部事務所 事前に電話いただければ幸いです。(先月号の日程に誤りがあり、訂正します)

厚木市 補聴器の助成制度 所得制限なし 領収書だけで1万円

1998年、厚木支部は公共施設に難聴者のための「磁気ループ」設置を求め陳情活動。この申し入れには厚木支部執行委員4名が当たり、市側は秘書課の職員が対応しました。県内で初めて公共施設に「磁気ループ」を設置させました。これが補聴器助成となったようです。「自立支援用具等購入費助成」制度とい、75歳以上の高齢者に杖、歩行器など

加齢性難聴補聴器に助成を 75歳以上医療費 窓口負担2割化反対!! 2大陳情運動



伊勢原市へ陳情(中央・鶴崎伊勢原支部長)

小田原市議会が2月22日開かれ、公明党と保守会派の反対で否決され、共産党が賛成しました。小田原支部は一市七町の首長、議会に陳情しています。

加齢性難聴の老夫婦が会話もなく、高価な補聴器も買えず寂しい思いをしている。わかつてもらえず悔しい。

◆老夫婦の寂しい気持ちわかつてない 水谷由美子支部長談

「二大陳情運動」は①コロナ禍でもできる運動、②補聴器助成運動

【3月号既報】春の予算議会に向けた「2大陳情運動」で神奈川県知事、県議会、政令市長、区長、一般市長、町長、村長と各議会合わせて県内62自治体の93%、58の自治体を訪問。50支部の94%、47支部が単独で陳情書を提出しました。

県本部 初めての取組 県内市町村の93%を支部が訪問 小田原支部は1市7町、3政令市区長にも要望提出しました。

小田原地方支部では初めて1市7町を訪ね、政令市の横浜、川崎、相模原でも揃って区長に要請しました。

「二大陳情運動」は①コロナ禍でもできる運動、②補聴器助成運動

小田原支部の陳情 公明と保守系が否決 共産党は賛成

小田原支部は1市7町、3政令市区長にも要望提出しました。



和部 強風に負けず! 大支 75歳以上窓口負担増NO! 宣伝

2月20日、鶴間のスパー前で定例の宣伝活動を精鋭5名で行いました。真新しい横断幕が強風にはためく中で「加齢性難聴者への補聴器の公的助成を」「高齢者の医療費窓口負担増NO!」の陳情書を市議会に提出したことを知らせ、協力を訴えました。10名が署名に応じてくれ、励みとなりました。



津久井支部の申し入れ 高齢者・障害者移送サービス 13000円→45000円へ

年金者組合相 廃止になり、「4月から模原津久井支部、新日本婦人の会津久井支部は2月22日、高齢者及び身体障害者等社会福祉協議会(社協)委託移送サービスの継続などを求める要望書を本林賢太郎相模原市長に提出しました。相模原市社協の委託事業として行われている移送サービスが

春の仲間づくり月間(準備期間)はじまる

加齢性難聴での補聴器助成、75歳以上の医療費2割化反対を勝ち

①基準日は3月末現在 ②準備期間は4月です。 ③月間は5月、6月と ④県本部の目標は支部を上として1万3000人を目指します。

13回のボランティア、いまだ終わってない!



寒川支部 宮城、福島に寒川支部、茅ヶ崎支部からの義援金と支援物資を軽トラに積んで、組合員らと共に13回ボランティアに行きました。今はコロナで行けませんが、これからも支援していこうと思います。

2月13日11時過ぎ、突然の激しい揺れに襲われました。東日本大地震の余震で、M7.3でした。現地では当時の恐怖がよみがえり、多くの人が避難したと言います。あれから10年、津波被害の復興は進んでいるものの、福島第一原発事故による放射能で、未だ多くの人が避難生活を余儀なくされています。(石黒良行)

組合に入ってよかった 自転車転倒→94万3000円支給



小さな掛け金

大きな保障

まさかの事故
本当に助かった
支部四役会議終了後
自転車車で帰宅途中、他の
自転車と接触し、そう
になり急ブレーキをか
け転倒し骨折しました。
支部が組織共済に加入
してくれたので、94万
3千円を頂き助かりま
した。組合に入ってい
てよかったです。

相模原南支部 Mさん

共済利用状況

年金者組合の共済制
度の利用が全国で増え
ています。県本部の主
な制度の利用状況を紹
介します。交通災害共



こどもの国・赤ポッポ号の前でポーズ

動物と自然にかこまれ子どもに戻った一日!

コロナの緊急事態宣
言中の2月18日、横浜
市青葉区にある「こど
もの国」にでかけまし
た。風があつたものの
真つ青な空の下23人が
参加。子ヤギや子牛の

頭をなでたり、おいし
いジャージー牛乳から
作ったソフトクリーム
に舌鼓を打つたりと広
い公園で楽しみました
お弁当とおしゃべり
(声の大きさに気がつけ
て)も盛り上がり、食
後には公園のまわりを
1万歩以上も歩かれた
88歳女性のシャキッと
した歩き方に感動。
この日初めての参加
で早速入会して下さっ
た方もいて、うれしい
楽しい一日でした。
(麻生支部)

年金支給漏れ、 提訴したら全額支給

特定社会保険労務士 西 辰男

令和3・2・8朝日新
聞に大きく報じられた
記事について、この件
に関わった当事者とし
て説明します。
趣旨は振替加算の支
給漏れの人が、申請を
して支給された。支給
されたのは申請から5
年以内の分だけ、5年超
の期間分は時効によつ
て支給しない。この処分
を不服として、「5年
を超えるものも遡つて
支払え」と国を訴えた。
国は、第一次、第三次

訴訟にわたつて、裁判
の前に遡及・全額支払
いをして、判決を出さ
せない措置を取つた(国
側実質敗訴だが)。判決
が出る、知らない人
にまで知れるからです。
1、この事案の経緯

① A子さんの夫B夫
さんは、平成29年厚労
省発表の「振替加算の
総点検とその対応につ
いて」によつて、A子
さんに振替加算が付い
てない事を知り、申請
をした。年金事務所は、

申請から5年分は支給
されるが、5年超の期
間分は時効によつて支
払われない。申請者に
責任があるからという
ものであつた。B夫さ
んはこの説明に納得が
いかず、年金者組合横
須賀支部の学習会で筆
者と個別相談した。筆
者は、これは不当な処
分だから争いましょう
と言う事になった。

② この頃中央本部に
「振替加算対策会議」
を設けて、全国の事案
を検討・対策を共有し
てもらつた。

注意：対象者の多くは配偶者が公務員で1966年
4月1日以前に生まれた方です。

④ 令和2年5月の加
藤厚労大臣の年金事務
所段階で丁寧な応対を
するとの答弁となつた。

た。B夫さんと筆者は
社会保険審査官、社会
保険審査会に不服申し
立てをするも棄却され
た。この訴訟の人は同
様な処分。

③ この間、振替加算
対策会議は厚生労働省
担当者との説明会議を
持ち、共産党倉林議員
への説明、国会質問し
てもらつた。

藤厚労大臣の年金事務
所段階で丁寧な応対を
するとの答弁となつた。

支部活動報告

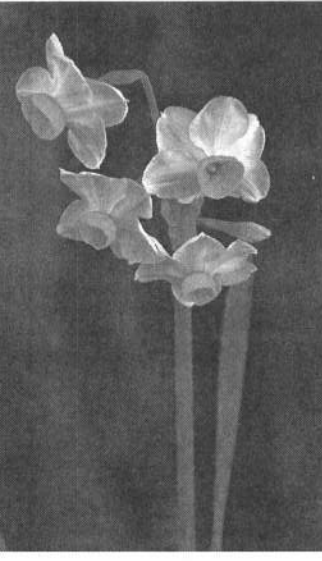
●伊勢原支部

2月8日、伊勢原市
議会事務局に「加齢性
難聴者の補聴器購入に
公的助成を」(後期高
齢者医療費の窓口負担
の2割化の中止・撤回
を求める意見書の提出
を)の2点を訴えまし
た。3月定例会で議論
され、採択が行われま
す。具体的にはこれか
ら決まりますので、注
視していきます。
(伊勢原 嶋崎邦男)

●川崎多摩支部

昨年末みなさんから
集めたアンケート「支
部ニュースの要望」で
貴重な意見が寄せられ
ています。
・地域に根ざした記事
(良いお店、危険な場所
(良いお店、危険な場所
を)の2点を訴えまし
た。3月定例会で議論
され、採択が行われま
す。具体的にはこれか
ら決まりますので、注
視していきます。
(伊勢原 嶋崎邦男)

わがまちの ハナはな



わかまちの花。
「かわいい 水仙の花。」
その住んでいる 田舎、建物、北側に 小さな空地があり
日当たりも殆どない状況中、小さな 蒼樹の下に 近所の
奥様に、昨年 水仙の球根を 5~6ヶ 植えました。
その一本に花芽が付き、小さなつぼみとなり、見事に
白い花びらと黄色い花弁、それは、かわい、きれいな
水仙の花、四輪車を 咲かせてくれました。いっ咲か
毎日 楽しみの中、咲いたとき*のうれしさは、又、格別でした。
寒い冬の中、付けはけに 一生懸命、咲いている。
水仙の花に感謝です。
川崎多摩支部 佐藤忠勝

住まいるnet フリーダイヤル 0120-88-5593
年金者組合と建設職人の組合との提携事業
《対応メニュー》新築・リフォーム・屋根・塗装・内装・造園・
外構・白アリ駆除・畳・設備水周り・ハウス
〒221-0045 横浜市神奈川区神奈川2-19-3建設プラザ4階
神奈川建設労連 045-534-9962

花の写真と記事(200字
程度)を20日までに県本部ま
で送ってください。

神奈川県 年金者文芸

文芸作品集 作品と住所、氏名、TELを
添え、俳句、川柳、絵手紙等を明記。文芸欄まで。
FAX: 045-221-0045。毎月22日締切。

- (俳句)
福寿草出窓の日差し集めけり
秦野支部 室伏としこ
蠟梅の香を背におはす六地藏
秦野支部 吉岡 淑子
野菜畑靴底に付く霜の土
秦野支部 松井ヒロ子
綿虫のふはりふはりと極楽寺
港南支部 横川 あい
平凡な一年であれ賀状書く
港南支部 松本 昌代
春告草啄む仲間呼び止めて
戸塚支部 上原 俊子
ジェンダーを問はる愛の日のチョコレート
逗葉支部 四海 良道
- ちゃんちゃんこ好意で水郷手こぎ舟
相模原相模支部 押切 彰子
手袋の片手別るる人に脱ぐ
川崎南支部 鏡 専一
幸せに気付かぬままや初日記
愛川支部 山口とみえ
炊き上ぐる亡夫の弔電どんと焼
愛川支部 廣井 瑞枝
(川柳)
居眠りも歳費になつてる議員さん
愛川支部 白井 信子
青空に見とれ友に置いてけぼり
横浜緑支部 溝田 朝子
バレンタイン孫と息子と婿さんに
横浜緑支部 山路 敏子

春の墓前祭(納骨式)はコロナ禍のため開催を見合わせます。